

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤマダデンキ千葉中央店 新	階数	地上3階
建設地	千葉県千葉市中央区村田町893番7	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	50 人
地域区分		年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	
竣工年	2023年12月 0.0	評価の実施日	2023年4月26日
敷地面積	10,684 m ²	作成者	株式会社ディーエス設計
建築面積	4,865 m ²	確認日	202●年●月●日
延床面積	11,461 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし
Q1 室内環境	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー	BPI _m =0.93。 [BEI] _m [BEI _m]=0.78。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して83%。
Q2 サービス性能	給水H1VP(VP相当)(B)、排水VP(B)、給湯SUS(C)、Eは不使用。 3.9m以上。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器など)などを用いている。 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される